

授業科目名	環境バイオテクノロジー入門	大学名	帝京大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	前期
学部・学科等	理工学部総合理工学科環境バイオテクノロジーコース	曜日	未定
必修・選択区分	選択	時限(時間)	未定
標準対象年次	全学年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	未定
担当教員名	各教員(オムニバス)		
電話番号(代表者名)	028-627-7120(教務課)	e-mailアドレス	kyomu@riko.teikyo-u.ac.jp
オフィスアワー	授業担当者ごとに別途学内に掲示		
授業の概要	<p><授業の目標及びねらい> 各教員が様々な分野から環境やバイオテクノロジーに関する話題を紹介し平易に解説する。これらの分野に関する幅広い知見を身につけることを目標とする。</p> <p><前提とする知識・経験> 特になし。高校で環境や生物学を学んでこなかった学生にもわかるように、基礎的な事柄も含めてわかりやすく講義を行う。</p> <p><授業の具体的な進め方> 教員ごとに黒板による板書やパワーポイント、ビデオなども利用して講義を行う。</p> <p><授業計画> 各担当教員が下記のテーマについて1回ずつ講義する。講義日程は別途掲示する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 遺伝子組換え植物の基礎知識(朝比奈) 2 分子の形が機能を決定する-構造生物学と分子設計(内田) 3 脳神経科学の世界(内野) 4 動物の生殖と発生-社会への応用-(太田) 5 生物種の進化と分子の進化~化学の視点から~(片山) 6 DNA鑑定技術の基本原則(古賀) 7 環境と微生物(作田) 8 特異な機能を持った微生物(高橋) 9 遺伝のしくみ-子はなぜ親に似ているのか?-(高山) 10 生命現象を目で見る-ライブイメージング技術による脳機能の可視化-(平澤) 11 社会における植物バイオテクノロジーの利用(宮本) 12 植物分野に関するまとめ 13 動物分野に関するまとめ 14 微生物分野に関するまとめ 15 食品・化学分野に関するまとめ <p><教科書・参考書・教材と入手方法> 教科書は使用しない。必要に応じて適宜プリント等を配布する。</p> <p><成績評価法> 担当者ごとに試験行うか、あるいはレポートの提出を求める。各担当者の評価の合計を成績とする。</p> <p><教員からのメッセージ> 環境やバイオテクノロジーに関する話題は、テレビやネット等でもしばしば紹介されるので、興味を持って調べてみることを勧める。</p>		